

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年6月15日現在

部 会	観光・交流部会	プロジェクト	地域資源を活用した観光振興の推進及び交流人口の拡大	フォローアップテーマ	人材の確保・育成、旅行商品の磨き上げ
-----	---------	--------	---------------------------	------------	--------------------

実施主体・役割分担等	H30年度末の成果目標	H32年度末の成果目標（プロジェクト全体）
①地域おこし協力隊等の更なる積極的な募集 【公社】求人への応募につながる採用条件の見直しの検討を行う ②民間活力の導入 【村・公社】全国で自然体験プログラムを展開する企業に委託し、観光プロジェクトと合わせたプロジェクトリーダーの確保と育成を図る 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ③アドバイザーの助言を活かした山岳観光などの磨き上げ・商品化 【村】拠点施設（白滝の里、結いの里）を中心とした周遊ルートの検討 【公社】教育旅行・企業研修の受入 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ④広域で連携した商品づくり（嶺北地域、石鎚山系） 【村・石鎚協】広域登山マップの作成、登山ガイド活用方法等検討、ロングトレイル協会登録コースの本格稼働 ⑤魅力ある体験メニューの造成 【村】拠点施設（白滝の里、結いの里）を中心とした周遊ルートの検討 【公社】山岳ツアーガイドのスキルアップ研修及びイベントの企画実施、サイクリングイベントの企画立案及びイベントの実施 【県】観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー事業の活用 ⑥ダム湖面を活用した体験メニューの開発 【村・公社・結いの里】結いの里を活用したカヌーやSUP体験の企画立案 ⑦旅行商品のセールス 【村・公社】旅行者者に向けたモニターツアー等による商品の営業の実施	・体験プログラムの開発 2本 ・観光プロジェクトを推進するリーダーの採用（村・公社）各1名 ・白滝の里施設改修基本計画の策定	【白滝の里宿泊者数】 H32:1,800人

月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の募集(2/19～随時) ・日本ロングトレイル協会加盟コースの本格稼働に向けた準備 ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結 	①人材の確保・育成 ・地域おこし協力隊（処遇面見直し：報酬額166千円→188千円）の募集開始（H30.4.1～、村HP・県移住ポータルサイトへ掲載） ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結（H30.4.27） ②旅行商品の磨き上げ ・日本ロングトレイル協会の加盟コースへの登録（H30.3.26） ・石鎚山系ルートマップ及びグレーディングを石鎚山系WEBサイトへ掲載、登山アプリで配信開始（H30.4～） ・大川村観光人材育成等促進事業委託契約の締結（H30.4.27） ・白滝ふるさとまつり開催（H30.5.3、約200名参加） ・白滝の里山歩きツアーの実施（4回開催、延べ17人参加） ・自然を活用した募集型体験ツアー（田舎暮らし体験）の実施（5/4～5/6、5名参加） ・大川村プロジェクト観光・交流部会を開催し、今年度の事業計画と実施状況を確認（H30.5.16） ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー（2回目）の募集開始（受託事業者HP、公社フェイスブック） ・大川村白滝の里施設改修基本計画策定委託業務に係る公募型プロポーザルの公告（H30.5.31）	①人材の確保・育成 ・全国的な人材不足等により協力隊募集への問い合わせや申込はなく、高知暮らしフェアへの参加等の採用活動の強化のほか、民間企業の活用等新たな人材確保の手法の検討が必要。 ②旅行商品の磨き上げ ・イベントや山歩きツアー等の開催について白滝の里のフェイスブックを中心に周知を行っているが、まだ参加人数が少なく、情報発信の強化が必要。 ・公募型プロポーザルへの応募がなかったため、条件を変更して再度公告が必要。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施（1回目） ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催（5/16） ・石鎚山系事業（広域登山マップ作成、モニターツアー実施、登山ガイド活用方法検討等） 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・大川村・高知県連携会議の開催（6/15） ・高知暮らしフェア2018への参加（6/24東京、6/30大阪） 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施（2回目） ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約締結 ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施（3回目） 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●拠点施設（白滝の里、結いの里）を中心とした周遊ルートの検討 ●教育旅行プログラムの開発及び企業研修の販促ツール作成に向けた検討 ●湖面を活用したカヌーやSUP体験の企画立案 ●サイクリングイベントの企画立案及びイベントの実施 ●体験プログラム等の企画・実施を通じたOJTによる人材育成 ●観光及び組織マネジメントに係るワークショップ及び先進地視察 ●公社ホームページ改訂及び情報発信の担い手育成 		
9月			
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施（4回目） ・「星空案内人養成講座」実施 ・インバウンド関係者村内視察ツアー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●山岳観光、企業研修、教育旅行等ニーズに合致した観光・交流のむらづくりの核となる施設としてのあり方を検討 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・大川村・高知県連携会議の開催 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・高知暮らしフェア2018への参加（東京、大阪） 		
1月			
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催 ・大川村プロジェクト全体会の開催 		
3月			

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年6月15日現在

部会	生活支援部会	プロジェクト	集落活動センターにおける活動の充実と新たな人流・物流の仕組みの構築	フォローアップテーマ	集落活動センターの拠点機能の強化
実施主体・役割分担等 ・大川村集落活動センター結いの里運営協議会・・・検討主体、実施主体 ・大川村・・・検討主体(提案)、財政的支援 ・県(中山間地域対策課、地域支援企画員)・・・助言、財政的支援		H30年度末の成果目標 ・拠点施設で提供する特産品を活用した新メニューの開発 ・拠点施設で扱う農作物・特産品の拡大 ・お土産品の開発 ・情報発信機能の強化		H32年度末の成果目標 (7°以外全体) ・集落活動センターでの新規雇用者数:2名	
月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考		
4月	・拠点施設で提供する新メニューの検討(必要に応じアドバイザーを派遣) ・農産物・特産品の販売希望者を広報誌等で募集 ・さくらまつりへの協力 ・春の宴 開催	・さくらまつりへの協力(H30.4.15) ・春の宴 開催(H30.4.21)	・H29年度の実績報告・H30年度の実 実施計画及び取組状況を確認		
5月	・特産品、お土産品の検討(必要に応じアドバイザーを派遣) ・ホームページの内容充実に向けた協議	・生活支援部会(H30.5.16)			
6月	・大川バル 月1回 開催 (7月は、はちきん地鶏を主とした謝肉祭イベントを 検討中)				
7月	・特産品を活用した新メニューの試作(必要に応じてアドバイザーを派遣) ・拠点施設での情報発信の開始 ・拠点施設を中心とした情報発信方法等の検討				
8月					
9月					
10月	・特産品を活用した新メニューの提供開始 ・特産品、お土産品の試作(必要に応じアドバイザーを派遣)				
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

平成30年度 大川村プロジェクト加速化の取り組み

平成30年6月15日現在

部 会	生活支援部会	プロジェクト	集落活動センターにおける活動の充実と新たな人流・物流の仕組みの構築	フォローアップテーマ	新たな移動手段・物流の仕組みの構築
-----	--------	--------	-----------------------------------	------------	-------------------

実施主体・役割分担等	H30年度末の成果目標	H32年度末の成果目標（プロジェクト全体）
<ul style="list-style-type: none"> ・大川村・・・検討主体、実施主体 ・貨物事業者・・・貨物運送面からの提案、協力、助言 ・路線バス事業者・・・旅客運送面からの提案、協力、助言 ・集落活動センター・・・集落活動センターの運営面からの提案、協力、助言 ・県（中山間地域対策課、交通運輸政策課、地域支援企画員）・・・事務局等 	<ul style="list-style-type: none"> ・村内を運行する新たな移動手段の整備 ・新たな移動手段による貨客混載を活用した物流サービスの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段・物流の仕組みが確立され、住民の移動ニーズが満たされるとともに、効率的な物流サービスが提供されている。

月	実施計画・変更計画	実施状況	成果・課題・備考	
4月				
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段等の検討（運行主体・運行方法等）（5月～6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援部会（H30.5.16） ・村・県担当者協議（H30.5.28） 	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度の実績報告・H30年度の実施計画及び取組状況を確認 ・移動手段の現状を再確認、見直しの方向性を議論 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段・物流に関する村民ニーズ把握（6月～7月） 			
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・貨客混載の検討（7月～8月） 			
8月				
9月		<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議開催（9月） 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段と貨客混載の登録等手続き（10月～12月） 			
11月				
12月		<ul style="list-style-type: none"> ・実証運行の村民への周知（12月） 		
1月		<ul style="list-style-type: none"> ・実証運行（1月～3月） 		
2月				
3月				